

[会報 リサイクル デザイン]

発行日：1995年2月15日

編集・発行

横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220 横浜市西区平沼1-33-1

東洋建物横浜ビル5階

TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

95
第6号

RECYCLE Design

横浜市資源リサイクル事業協同組合



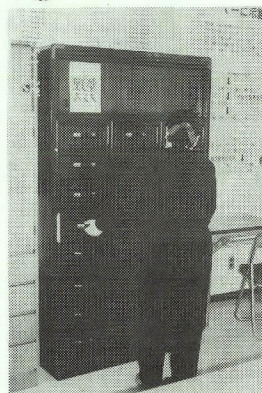
困ったときの リサイクルプラザ

引越しや家の建て替え等で、不要となる家具類。粗大ごみとして捨てるのはまだ使えるのもつたいないし、かといって何処に持っていくのかわからない、という方に利用してほしいのが、港南区と青葉区にあるリサイクルプラザ。約3年前から(財)横浜市廃棄物資源公社が運営しています。

今回紹介するのは、港南リサイクルプラザです。

ここに展示してあるのは殆どが家具類です。ストーブ類は危険性があるので取り扱っていないとのこと。

原則的に電話連絡をしてから各自が持ち込みで持つ



きてもらう様になっています。取りに来て欲しいという人もいます。プラザの職員は3人しかいないので取りに行かれないという事です。中には引越しの運送業者がプラザへ持ってくることもあるそうです。それでもだめなときは3階に情報板コーナーもあるのでそちらを利用する方法もあります。

また引き取ったものは基



本的に修繕はしなくて、ただ綺麗に拭くだけでそのまま展示されます。

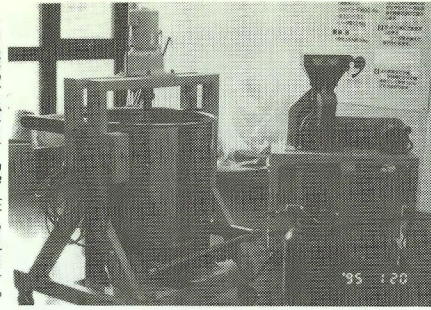
引越し、家の建て替え子供が大きくなったので使えなくなったという理由で不用品となることが多いです。机、ベッド、ベビーカー、ベビーシートがよく持ち込まれます。

プラザでは一ヶ月100点展示しています。展示品を希望する人は、備え付けの応募用紙に一点だけ書いて申し込みます。一人三点まで申込出来ます。

毎月第1火曜日が抽選日で公開抽選。その日に当選者にはハガキを出し、品物と交換されます。その時当選者には500円の賛助金を任意でお願いしています。この賛助金は「よこはま緑の街づくり基金」に寄付されているそうです。

上半期(94年4月～9月)のデータとしてどれだけの人が利用したかというところ、入場者一五、八〇人。展示数六〇〇点。申込総数二二、五八三件。平均倍率三七倍だったそうです。かなり利用する人がいるんですね。

またリサイクルプラザはこの他にも石鹸体験室があり、事前に電話で申込をしても構いません。利用は2人〜10人で廃食用油20ℓと材料費1,500円を用意すれば誰でも



この機械で粉石けんが作られます。

もできるそうです。油20ℓで粉石けん40kgが出きます。

3階の展示室の隣には、紙すきコーナーがあり、牛乳パックを水に溶かして葉書などに使えます。説明のボードがあるので、誰でも簡単に作れますよ。一度リサイクルプラザへ足を運んでみてはいかがでしょう？

港南リサイクルプラザ

港南区日野南二ー一ー

☎八三四一五八〇

北部リサイクルプラザ

青葉区荏田西一ー五一六

☎九一ー六二五五

新しい古紙の収集方式

「古紙の収集に新システム」

平成5年度に市内で集められた「ゴミ」の中で紙の占める割合は36%にもなり、「ゴミ減量の最も重要な対象」として、取り組みを強化する必要があります。

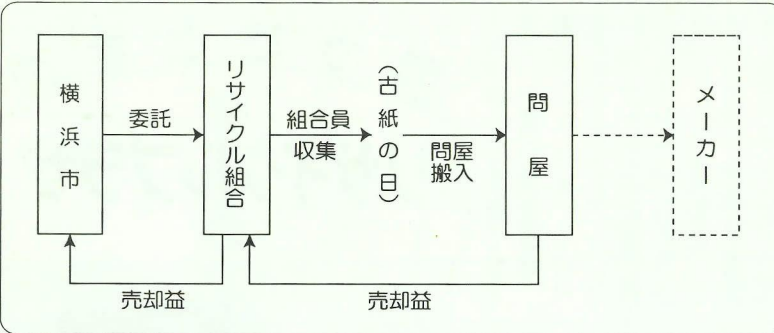
しかし、古紙価格は長期にわたって低迷状態にあり、回収量をこれ以上拡大する

のは困難な状況です。そこでリサイクル組合は、市と協同して「ゴミの減量」に協力し、なおかつ誰もが参加しやすい古紙分別収集システムの構築を提案します。まず、現行の集団回収システムと競合せず、「ゴミ化」している古紙の分別収集方

法として3つの案が考えられます。

A案 現行2回実施している缶・びんの回収にあわせて、古紙を分別収集する。

B案 家庭「ゴミ収集日」と缶・びん回収日に重ならない日を「古紙の日」として設定し、古紙だけを回収する。
C案 収集効率をあげるため、一品目回収できるよ



雑談議 ● 第1回

「たー、なとなくね」



緑子「さあ、年も新しくな

つて今年はどうなんリサ

イクルを目標そうか。」

大地「そりゃ、まず第一は

市況の回復が一番だよ。

そつすればリサイクル

はすすんでいくよ。」

緑子「でも、一番難しいこ

とではないの？私達だ

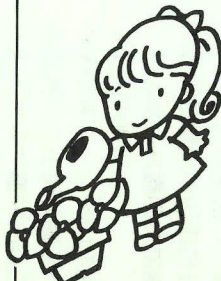
けで解決できるの？」

大地「んじゃ、緑子ちゃん

はこう思うんだよ。」

緑子「・・・」「わかん

ない。大地君は何故そう



「ただなんとなく」ではなく「なんとかなるんだ！」の意気込みで再挑戦。

いろいろな事が、手遅れかもしれない。でも解決できる道はあるはず。

「ただなんとなく」ではなく「なんとかなるんだ！」の意気込みで再挑戦。

緑子「・・・」「イエローカー ドー！」

大地「ただなんとなくね。みんながそう言ってるからそうなんだよ。きつ。」

う、B案の「古紙の日」を「古新聞の日」のように「品目別古紙の日」を設定して回収する。
組合としては、C案を提案します。
このシステムは、市の家庭「ゴミ減量化事業」なので、双方の役割は次のように考えます。
まず、市は回収日の設定をし、市民へのPRを行い、

収集費用を負担します。リサイクル組合は、収集体制を整備し、収集業務・資源化事業を実施します。実利益は横浜市の基金または市民に還元します。

以上のような考えをリサイクル組合としては考えていますが、市民の皆さんはどんな意見をお持ちでしょうか？ご意見がありましたら組合までお聞かせ下さい。

古紙が足りない

ついこの前まで問屋さんに山と積んであった古紙が、今ではほとんど無くなつてしまいました。なぜでしょう？

我々取材班は急遽古紙問屋のM氏に事情をお伺いしました。以下M氏のお話しをお伝えします。

「今、中国や東南アジアの経済成長が急激に進んでいます。紙は文化のパロメーターと言われるぐらい、国の発展と共に消費量も伸びてゆきます。世界地図を広げるまでもなく中国も東南アジアも日本のすぐ隣、商人が原紙やその原料である古紙を買い付けに来るのは、ごく当然の事なのです。そして今までアジアの国々に古紙を販売していたアメリカは国内景気が良く、とても海外にまで回せなくなりました。これに加えて世界的な森林保護運動によるパルプの品薄です。この事によって日本の製紙会社もなるべくパルプを使わないよう、古紙の配合率を上げだしました。」

この様に今までは国内だけで使われていた古紙や、製品である原紙が海外に輸出されるようになり、問屋の在庫も無くなつてきました。以下のように日本の古紙も国際商品となつて、アジアの国々を巡り回っています。皆さんの家庭から出る古紙が海を渡って生まれ変わります。夢のようですね。

最後にM氏から皆さんにお願いがあるそうです。

「古紙は紙の原料として製紙会社が使います。寿司屋に例えれば、板前の腕がいくら良くて、悪いネタではおいしい寿司が握れないように、混ざり物が多い古紙では、いい紙を作る事はできません。特に新聞紙の中にはチラシ以外の物は混ぜないように、お願いします。(チラシも抜いて問屋に納めてる業者さんもいるので、その場合は業者さんの指示に従ってください。)」
分ければ資源、混ぜればゴミといえます。読者の皆さんにも分別の大切さをご理解願えたかと思えます。編集部からも重ねてお願い致します。

オフィス古紙共同回収事業

12月回収実績
参加企業 15社
20,034kg
でした。

エコサイクル12か月
第2回
「蜜柑の皮で…」

イベント情報
★日本で唯一のリサイクル総合展
「第2回リサイクル・テクノロジー・ジャパン'95」(略称R'95)が、2月23日(休)から25日(土)の3日間、東京・晴海の国際見本市会場で開催されます。現在まで約180の企業、各団体の出展が決まっており「生ごみ処理」「特装車両」のコーナーのほか、後援・協賛の各リサイクル推進団体等のテーマ出展コーナーを設置し、「私たちの生活とリサイクル」を切り口に事例をビデオや製品で紹介し、また、展示会と同時に「リサイクル総合セミナー」が開かれ、ソフト面からも最新技術が楽しめる。
テーマ
「資源循環型社会を目指す」

居間からこたつが消えつつあつても、蜜柑は健在のようです。蜜柑の魅力の一つはナイフなどいらない食べやすさです。輸出先の米国ではテレビオレンジと言われているとか。たしかにテレビを見ながら皮をおけますものね。
さて食べた後の蜜柑の皮は、ザルに広げて干します。(上野公園の下町風俗資料館には、糸に通した皮が軒からぶらさがっていました)まずは蜜柑風呂。さらし布

で袋を作つて、カラカラの皮を一つかみ入れ、沸かします。あつたまりますよ。成分のピネン・シトロール等の精油が、皮膚を刺激し血行をよくします。リウマチ・神経痛・冷え症・腰痛にきくそうです。蜜柑風呂の残り湯は、洗濯機にもOK。漂白作用があるとか。蜜柑の皮は陳皮といつて漢方薬にもなつています。乾燥したのをぐだいて、唐辛子や青油苔、胡麻とまぜ

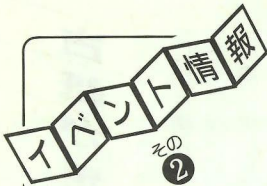
▼横浜ゴミを考える連絡会で作ったふるしきの柄。循環を表わす。

自家製薬味。
紅茶といれて
マンダリンオレンジティは
いい香りで、
とてもおいしいですよ。

これから出てくる晩柑類の皮も、同じく干して風呂の他、マムレード、ビールに。十文字の切れ目を入れて干し、そつた所に火を付けて、夏の蚊やり、匂い消しのお香として。先人の工夫を元に、実に多彩な使い方があつたのです。

できれば有機栽培の柑橘を使つてみてください。このごろは手に入りやすくなつてきています。地球を農薬や化学肥料で汚さない有機農法は、エコサイクルそのもののなのです。

みかんの皮の蚊やり、お香



横浜リサイクラー会議
2周年記念シンポジウム

「リサイクル新法と消費者」 ～包装容器の処理は企業責任で～

'95年1月通常国会に廃棄物の新法案が上程される予定です。新法では発生源抑制を製造者に求め、廃棄物の処理責任を負わせる制度が盛り込まれるはずですが、産業界、他省庁の水面下での動きが気になるところです。

今回のシンポジウムでは新法がいかなるものか、使い捨てを変えていけるのか、厚生省の担当官から説明を聞きます。あわせて新法を生かし、循環型社会にむけて私たち市民ができることを検討したいと考えています。

パネリスト●厚生省生活衛生局廃棄物制度改正プロジェクトリーダー／吉田秀人
横浜市資源リサイクル事業
協同組合理事長／中野聰恭
筑波大学社会工学系助教授／
安田八十五
横浜・ゴミを考える連絡会代表／
若宮静江

コーディネーター●ダイナックス都市環境
研究所代表／山本耕平

日時●2月18日(土) 13時30分開会
16時閉会

会場●パシフィコ横浜会議センター
2階 211, 212
(JR・東急東横線桜木町下車)

参加費●無料

共催●横浜リサイクラー会議／横浜市資源リサイクル事業協同組合

事務局●佐々木 Tel 045-583-4352

リサイクルに伴う標準買取価格表

(平成7年1月現在)

(取引条件により多少の変化はあります。)

分類	品名	金額
古紙類	新聞	1kg 0～1円
	雑誌	1kg -3～0円
	段ボール	1kg -1～0円
衣類くず		1kg 0～1円
金属*	アルミ缶	1kg 10～20円

この価格の標準は、100世帯以上、または500kg以上、そして1団体で数箇所から十数箇所のステーション利用とする。

*アルミ缶のみ選別した場合

集団回収以外の段ボールの標準回収手数料

★引越しなどは、量にかかわらず単発1回3000円

★商店・会社等は定期回収500kg以下、1回1000円～2000円、500kg以上3000円以上。但し、段ボールはただでストック場所は車両の付けられる場所にストックすることを条件とする。
(この価格は、組合員が段ボールを回収する時に実際頂いている回収手数料を、調査したものです。)

私は常に環境破壊から地球を守る為、資源は有限との立場からゴミをいかに少くするか、これは一自治体

リサイクル型都市横浜をデザインする人

リサイクル人紹介

市議員(港北区)

よこみそ 義久



だけの問題ではなく国単位での取組みが必要であり、ハード面は行政が、そしてソフト面は民間活動を導入すべきと考えております。

お知らせ

会報リサイクルデザインは、今、西区役所、緑区役所、南区役所、港南区役所、栄区役所に置いてあります。なるべく多くの方に読んで頂きたいと思っております。

組合新規加入者

大川商店

代表者 大川幸吉

南区清水ヶ丘二〇四

☎三三ー一九一五

主に古紙を扱っている方です。

現在の組合員数は一二二名です。